

小笠中学校総合体育大会 ソフトテニスの部

1. 期 日 1日目 令和7年6月21日(土) 団体戦
 ※予備日 6月22日(日)、7月5日(土)、6日(日)
 2日目 6月28日(土) 個人戦①(ベスト8決定まで)
 3日目 6月29日(日) 個人戦②(残り試合すべて)
 ※予備日 7月5日(土)、6日(日)
 集合時間 競技役員 7:15 競技別会長・救護担当 7:30
2. 会 場 [男子] いこいの広場
 予備日の場合 22, 6日: 浜岡中 5日: いこいの広場
 [女子] 大東北運動場、城東中学校
 予備日の場合 22日: 菊川西中 5, 6日: 大東北運動場・城東中
 【落雷発生時避難場所】 いこいの広場: 野球場、管理棟、保護者の車 大東北運動場: 管理棟、城東中学校舎内、保護者の車
 浜岡中: 校舎内 菊川西中: 校舎内
3. 競技役員
- | | 〈 男 子 〉 | | 〈 女 子 〉 | |
|-----------|-------------|-------|---------|-------|
| 競技別会長 | 大村 正己 | (桜が丘) | 村松 裕幸 | (城 東) |
| 救 護 | 竹嶋 ゆか | (桜が丘) | 高木 華穂 | (城 東) |
| 全 体 統 括 | 川中 瑞貴 (原野谷) | | | |
| 競技委員長 | 渡邊 凌 | (掛川東) | 杵塚 茉穂 | (掛川北) |
| 審 判 長 | 大村 友佑 | (大 浜) | 中山 竜彰 | (掛川東) |
| 会場責任者 | 渡邊 凌 | (掛川東) | 杵塚 茉穂 | (掛川北) |
| | 犬塚 智也 | (浜 岡) | 鈴木 貴也 | (菊川西) |
| 進 行 ・ 記 録 | 貝嶋 達也 | (原野谷) | 川中 瑞貴 | (原野谷) |
| | 森下 尚 | (桜が丘) | 平松 昌也 | (桜が丘) |
| | 鶴橋 祥太 | (掛川西) | 佐藤胡太郎 | (掛川西) |
| | 大芝 祐至 | (掛川北) | 中山 竜彰 | (掛川東) |
| | 熊切英実子 | (城 東) | 飯田 大晟 | (城 東) |
| | 大村 友佑 | (大 浜) | 粕谷 怜杏 | (大須賀) |
| | 原田 海 | (菊川西) | 鈴木 貴也 | (菊川西) |
| | 永倉 純 | (菊川東) | 山本 高裕 | (菊川東) |
| | 加藤 雅巳 | (岳 洋) | 奥村 佑次 | (岳 洋) |
| | 犬塚 智也 | (浜 岡) | 澤田 貴成 | (浜 岡) |
| | 高野 滯 | (御前崎) | 北條 賢佑 | (御前崎) |
| | 杉田 果穂 | (御前崎) | | |
4. 参加校 男子 [12校]
 [原野谷] [桜が丘] [掛川北] [掛川西] [掛川東] [城 東] [大 浜]
 [菊川西] [菊川東] [岳 洋] [浜 岡] [御前崎]
 女子 [12校]
 [原野谷] [桜が丘] [掛川北] [掛川西] [掛川東] [城 東] [大須賀]
 [菊川西] [菊川東] [岳 洋] [浜 岡] [御前崎]
5. チーム編成 監 督 1名(当該校の校長、教員、部活動指導員)
 コーチ 当該校の校長、教職員または校長の承認を得た外部指導者
 ※朝の打合せに参加したコーチのみ、ベンチ入りを認める。
 ※打ち合わせ内容を厳守すること。
 ※外部指導者は、理事が作成した「外部指導者証」を着用する。
 選 手 【団体戦】各学校1チーム(同一校の4人以上8人以内の登録)
 ※シードポイントを有していない1・2年生も登録可能
 【個人戦】各学校3年生のペア及び、3年生を含むペア、
 シードポイントを有している下級生ペア
6. 競技方法 【団体戦】
 ・ トーナメント戦を行う。
 ※組合せは「R7小笠地区シード戦大会」の結果を元に決める。
 ↑シード戦中止により「R6YONEXCUP小笠予選」を反映
 ※各校の初戦のみ3本すべて行うが、それ以降は2本先取とする。
 【個人戦】
 ・ トーナメント戦を行う。
 ※組合せは小笠中体連ソフトテニス部長と副部長が作成する。

7. 競技規定

- (1) (公財)日本ソフトテニス連盟の「ソフトテニスハンドブック」及び大会要項による。
- (2) 試合球は、男子が「ダンロップ」、女子が「ケンコー」とする。※公認球
- (3) 団体戦の審判は、本部指定チームとする。 ※いずれも団体戦登録選手
個人戦の審判は、第1試合は本部指定ペア、それ以降は敗者審判を基本とする。
※県大会出場に関わる対戦で、審判が対戦校と同一の場合は、対戦校以外の競技役員または選手が審判を行う場合がある。
- (4) 試合は5ゲームマッチを基本とする。ただし、次の試合は7ゲームマッチで行う。
【団体戦】 準決勝以降の試合
【個人戦】 ベスト8決めの試合、大会2日目のすべての試合
- (5) 団体戦は、登録選手8名のうち3ペアで対戦を行う。
 - ・ペアの組み合わせはその都度変えることができる。3ペアに満たない場合は、1番から順次出場する。
 - ・なお、登録選手以外を出場させた場合はチームの失格とする。
- (6) 選手変更について
 - ・団体登録選手の変更は認めない。
 - ・個人戦は、ペアの内1名の変更（登録選手以外から）を認める。その結果、下級生同士のペアになってしまってもよい。ペアの両方の変更は認めず棄権とする。
 - ・個人戦2ペアにそれぞれ変更がある場合は、その2ペアの一人ずつを組み合わせで1ペアとすることができる。ドロウは申込み時の順位の上位ペアの枠に入れる。
- (7) 監督、外部指導者(コーチ)について
 - ・団体戦、個人戦ともに、監督(コーチ)1名のベンチ入りを認める。
 - ・団体戦で、2面展開の場合にはコート中央に、1面展開に戻った場合にはそのコートに移動してよい。なお、インプレイ中の移動はしない。
 - ・個人戦で、2ペア以上出場し同時に対戦が行われている場合には、隣接しているコートであれば、選手はアドバイスを聞きに来られる。離れたコートの場合には、監督がベンチを離れてアドバイスに行くことができる。ただし、一度離れたベンチに戻ることはできない。また、監督が他の者と交代することもできない。
 - ・ベンチに入っている者以外のアドバイスは禁止されている(イエローカードの対象)。対戦の前後にコート外で指導する。
 - ・マッチ内に選手にアドバイスする場合には、チェンジサイズ及び、ファイナルゲームに入る前の1分以内とし、監督が所定のベンチで行う。45秒でレッツプレー、1分後には次のゲームの準備に入っていることを基本とする。
- (8) 服装について
 - ①選手
 - ・ユニフォーム及びシューズは、公認メーカーのものを使用する。
(メーカーカタログに「JSTA」表記があるもの)
 - ・ユニフォームに限り、大会開催中のシャツ出しを認める。
 - ・アンダーシャツ、タイツ等を着用する場合、色や長さの制限はなし。模様等は同色及び単色であればよい。
 - ・テニスシューズ(左右同色)を着用する。
 - ・ラケットについて、カラーガットは認める。
 - ・キャップ、サンバイザー、鉢巻等の使用は認める。ただし、市販されている元の状態のものに、印刷や刺しゅう等を加えることは認めない。
 - ・学校指定の体操服での出場も認める。
 - ・ゼッケンは、ユニフォームの背中に「糸で縫い付ける」「ホックで四隅を留める」「マジックテープで留める」「安全ピンで留める」のいずれかの方法で取り付ける。
 - ・ゼッケンはB5版横(白地)の大きさの布とする。
 - ・ゼッケンの文字は、「漢字」「平仮名」「片仮名」「アルファベット」を使用し、文字色は「黒」とする。

静岡
山中
原野谷中

静岡
大川文
掛川東中

※文字は「ゴシック体(太文字)」

 - ・同一校に同じ姓の選手がいる場合には、名前の中で個人が判別ができる1文字を少し小さく付け加えて区別できるようにする。
 - ・腕などへのペイント、文字の書きこみ、磁器ネックレス、装飾品は禁止。
- ②監督、コーチ
 - ・服装は、スポーツウェアを着用する。シューズ、帽子等は選手に準ずる。

- (9) マナー、注意事項
- ・プレーヤーは、お互いのマナーを尊重する。過度のかけ声または相手を不快にする態度、発声をしない。
 - ・プレーヤーは、審判の指示にしたがいマッチの開始から終了まで連続的にプレーする。(審判の進行やコールに支障がないようにする)
 - ・相手を不快にさせる、他のコートに迷惑をかける応援等をした場合、1回目は注意、以降度重なる場合は応援団を退場させる。
 - ・ベンチ内の選手や監督、コート外の観客による声を出しての応援を認めるが、インプレー中の声掛けや、戦略に関わる内容の声掛け等は禁止とする。
 - ・審判は、選手・監督に対し警告(イエローカードを提示)する。3度目は競技委員長・審判長の判断で警告(レッドカード)する。
 - ・選手、監督の日傘の持ち込みは認める。大きさはメーカーが出している物を最大とする。色(傘の外側)は「黒、紺、青」とする。「シルバー、白など」のボールが見えにくくなる可能性がある色は禁止。ベンチ裏で観戦する者も同様。
- (10) ヒートルール(熱中症対策)
- ・会場での気温(乾球温度)が35℃以上であり、ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に、3分間のコート内の日傘による日陰(アンパイアの目の届く範囲)での休憩を許可する。なお、3分間については、コーチングの時間(1分間)を含むものとする。
 - ・チェンジサービス時、審判台の下に置いてある飲み物に限り、給水を認める。

8. 参加申込み

参加申込みは「R7小笠テニス大会申込書(Excel)」を用いて、下記の通り行う。

【団体戦】『夏総体「団体」』に必要事項を記入し、紙媒体(職印付)を、大会当日(団体戦)に各会場の競技委員長へ提出する。

【個人戦】『夏総体「個人」』に必要事項を入力し、6月3日(火)16時30分までに指定されたGoogleドライブ内フォルダ、または「男子:渡邊(掛川東)」「女子:杵塚(掛川北)」へExcelデータ(職印不要)で提出する。また、同データの紙媒体(職印付)を大会当日(個人戦)に各競技委員長へ提出する。

9. 表彰・開閉会式

(1) 表彰	団体戦	優勝	[優勝杯、団体賞状、個人賞状]	
		準優勝	[トロフィー、団体賞状、個人賞状]	
		3位	[団体賞状、個人賞状](2校)	
個人戦	優勝	準優勝	[賞状]	
		3位	[賞状](2ペア)	4~8位ペア [賞状]

(2) 開会式・閉会式

[開会式] なし

[閉会式] なし ※競技別会長より「表彰」のみ行う。

10. 県大会について

- (1) 県大会出場枠 団体戦 男子2校、女子2校 個人戦 男子8ペア、女子7ペア
- (2) 申込み 競技部長が県大会への申込みをするが、県中体連で決められた形式により、大会当日の受付で紙媒体を提出する。
- (3) 参加料 1人あたり1,000円(小笠総体の全日程終了時に会場にて、男子は貝嶋[原野谷]、女子は川中[原野谷]が集金する)

11. 責任者連絡先

小笠中体連ソフトテニス部長 川中 瑞貴(かわなかみずき)

所属校 掛川市立原野谷中学校 〒436-0106 掛川市寺島15

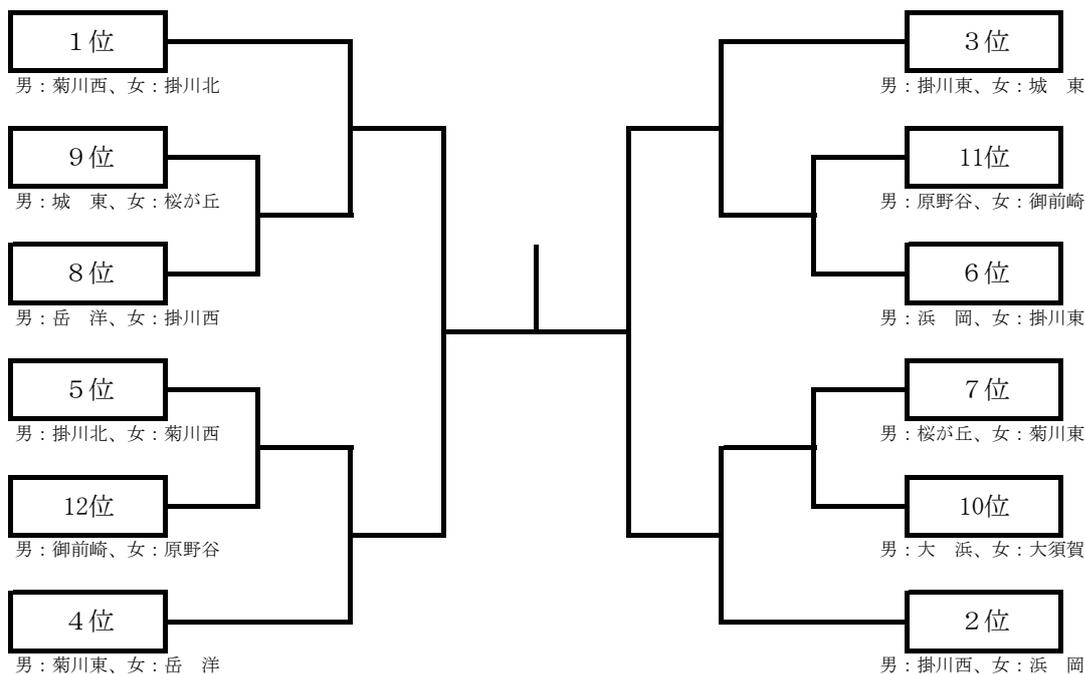
電話0537-22-0011 FAX0537-22-0132

12. その他

- (1) 中止の場合は、当日朝5時30分に判断する。各競技委員長から各顧問へ連絡する。
- (2) 登録選手以外の生徒の入場を認める。
- (3) 駐車場の台数に問題があるとき、駐車券を配布し車両台数制限を行う場合がある。
- (4) 大会参加にあたって
学校及び個人(参加者)の責任において、うがい、手洗い、マスクの着用、アルコール消毒などの予防に努める。又、監督、引率等の先生の責任において参加選手等の健康観察を行う。

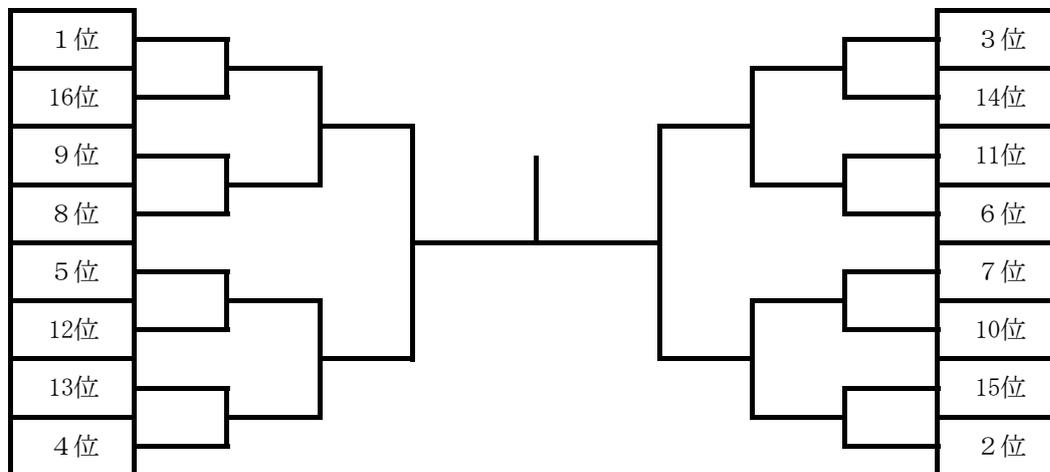
【 団体戦 】

トーナメント ※枠内の順位は「R7小笠地区シード戦」の結果
 ↑シード戦中止により「R6YONEXCUP小笠予選」を反映



【 個人戦 】 ※シード枠のみ記載

トーナメント ※枠内の順位は「小笠総体申込み時のシードポイント順位」の結果



- ※ シードポイント上位16ペアにそれぞれシード枠を与える（学年は問わない）
- ※ シードポイントが同値の場合、「R7掛川小笠選手権大会」の結果から、獲得シードポイントの高いペアを上位シードとする。
- ※ 次のような理由で、シード枠の組合せ変更を行う場合がある。ただし、第1～4シード枠のペアは原則変更しない。
 - ・ 1～2番手の準決勝までの同校対決と、1～4番手の準々決勝までの同校対戦を避ける。
 - ・ ベスト8決めまでのそれぞれの山の戦力バランスや、1回戦の対戦校とペアの組合せ等のバランスを整える。